

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

石川県加賀市 加賀市医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	ド透訓	救臨災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
62,545	26,629	-	第2種該当	7：1

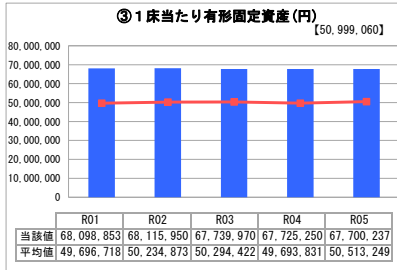
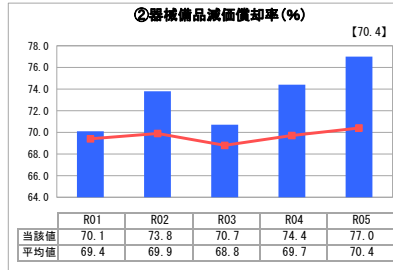
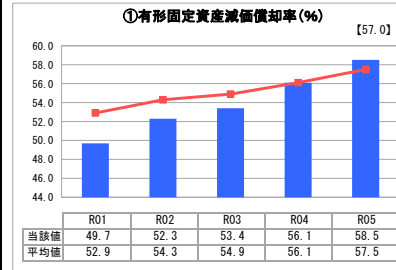
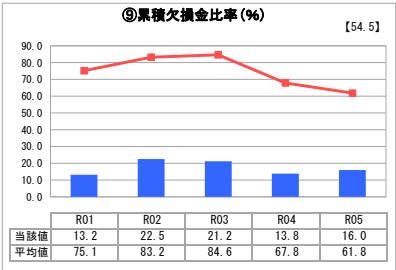
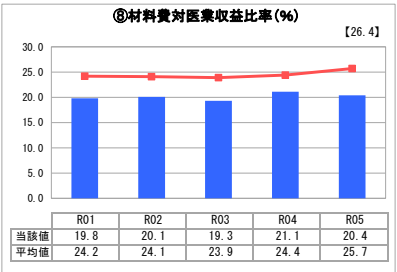
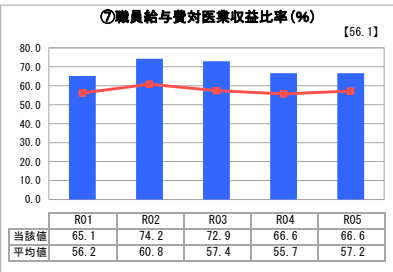
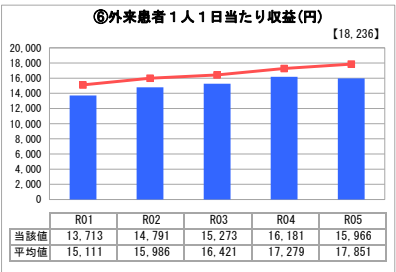
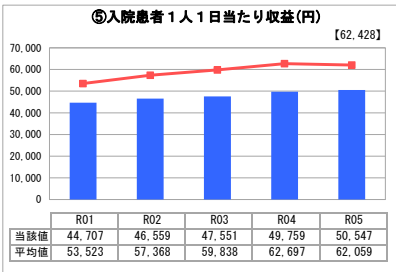
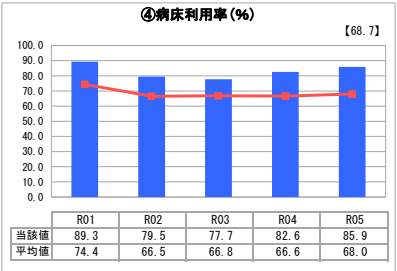
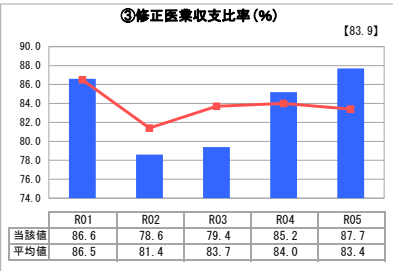
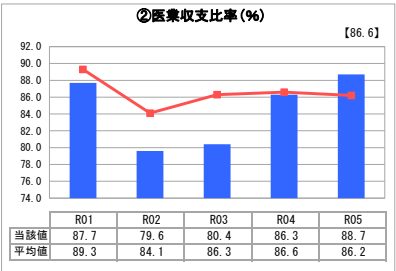
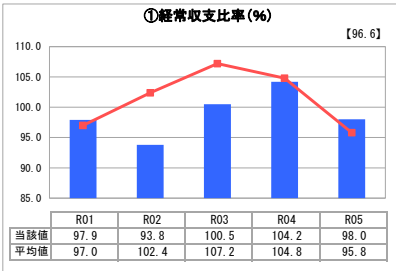
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
296	-	296

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
-	類似病院平均値（平均値）	
【	令和5年度全国平均	

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分化・連携強化 （従来の関係・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

## I 地域において担っている役割

- ・市内唯一の急性期病院として救急搬送を断らない体制の維持・継続
- ・医療従事者育成環境の充実
- ・周産期の受入促進（市内唯一の分娩施設）
- ・地域包括ケアシステム構築に寄与する在宅復帰支援の充実と地域連携の推進（地域連携センターつむぎ、訪問看護ステーションりんく）
- ・がん治療体制の充実
- ・認知症高齢者の増加に向け行政と連携した活動の促進
- ・新型コロナウイルス感染症患者対応
- ・地域災害拠点病院としての医療救護活動
- ・紹介受診重点医療機関として地域の病院・診療所との連携強化

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は補助金の減収等により前年比6.2ポイント下落し、100%を下回った。  
新型コロナウイルス感染症の確保病床を徐々に削減し、能登半島地震後に多くの患者を受け入れたことにより医療収益が増収した。医療収支比率は前年比2.4ポイント上昇、病床利用率についても3.3ポイント上昇している。  
職員給与費対医療収益比率は平均値を上回る状況が継続しており、適正な人員配置や収益の確保が必要である。

### 2. 老朽化の状況について

平成28年4月に2つの病院を統合し、移転・新築開院した。統合新病院に加え旧病院の減価償却が進み、有形固定資産償却率が平均値を上回った。  
また、旧2病院分の資産を有しているため、1床当たり有形固定資産が平均値を上回っているが、将来的な減価償却費の増大につながらぬよう、長期的な投資計画に基づいて適切な更新を図る必要がある。

## 全体総括

新型コロナウイルス感染症による病床制限や補助金削減等の影響が大きく、医療収益は増収したものの最終的には赤字決算となった。  
地域の基幹的な急性期病院として必要とされる医療を安定して提供し、医療機能や環境の整備に努め、より一層経営の効率化を図ることバランスのとれた病院経営を目指していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。